

知っておきたい抗菌薬の正しい使い方

感染症内科医長 山内 悠子

自宅に抗菌薬（抗生物質）を保管したり、保管してある抗菌薬を自己判断で飲んだりしていませんか？

感染症やその原因となる菌（病原菌）によって、使う抗菌薬は異なります。

抗菌薬を正しく理解して、正しく飲むことが大切です。

抗菌薬と薬剤耐性菌

人の体にはたくさんの細菌が共生しており、この中には抗菌薬の効かない薬剤耐性菌がわずかにいることがあります。

抗菌薬を飲むと、病原菌だけでなくもともと住んでいる細菌も退治されて、薬剤耐性菌だけが残って増えてしまうことがあります。



風邪をひいたとき

「風邪をひいたから抗菌薬をもらおう」と考える方は多いのではないのでしょうか？

しかし、風邪はウイルスによる感染症です。抗菌薬は細菌を退治する薬なので、抗菌薬で風邪を治すことはできません。風邪をひいたときは、症状を軽くする薬を内服して休養しましょう。

効果のない抗菌薬を内服すると、感染症が治らないだけでなく、薬剤耐性菌を増やしてしまうことになります。

抗菌薬を処方されたとき

抗菌薬は正しく使わないと、むしろ耐性菌が増えてしまうので注意が必要です。抗菌薬を使う際は、次の点に気を付けてください。

- ✓ 抗菌薬の量・期間を守って、最後まで服用しましょう
- ✓ 自宅に抗菌薬を保管したり、保管している抗菌薬を自己判断で飲むのはやめましょう
- ✓ 抗菌薬をあげたりもらったりしないようにしましょう

感染症を予防するために

耐性菌が広がらないためには、感染症予防が大切です。
感染症を予防するためにできることを三つご紹介します。



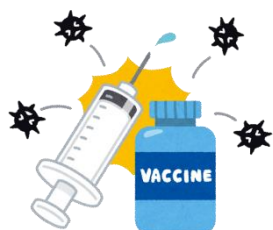
◆ 手洗いをしましょう

手についている細菌やウイルスを除去し、感染症を予防することができます。



◆ 咳エチケットを守りましょう

咳やくしゃみが出る時はマスクをつけて、しぶきの中にいる細菌やウイルスが広がるのを防ぎましょう。



◆ ワクチンを打ちましょう

感染症には、ワクチンで予防できるものがたくさんあります。
かかりつけ医に相談しましょう。

現在、世界で年間約70万もの人が薬剤耐性菌により死亡しています。

これ以上薬剤耐性菌の問題が広がらないためにも、一人ひとり抗菌薬の正しい服用と日頃からの感染症予防を心がけましょう。

今後の当院イベント

● 第27回都民公開講座

テーマ 本当はとても身近な不整脈のはなし
心房細動ってなに？

日時 平成30年12月12日（水）
午後7時～午後8時／開場午後6時

場所 当院別館3階大会議室

● 防災豆知識

内容 災害への備え、災害時の工夫など

日時 平成30年10月22日（月曜日）
午前11時～正午

場所 1階総合案内横

東京都立広尾病院 第27回都民公開講座

本当はとても身近な不整脈のはなし
～心房細動ってなに？～

日時 平成30年12月12日（水）
午後7時～午後8時／開場午後6時

会場 東京都立広尾病院
別館3階大会議室

講師 当院循環器科医長
深水 誠三 医師

申込不要
参加費無料
直接会場に
お越しください

参加費無料、事前申し込み不要です。当日直接会場にお越しください。

｜発行｜東京都立広尾病院広報委員会

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿2-34-10 電話番号03-3446-8331（予約専用）

URL <http://www.byouin.metro.tokyo.jp/hiroo/>